

「福井元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井元気宣言」に掲げられた「元気な産業」、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」の4つのビジョンを着実に実現していくため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、特に、今年度は、次に掲げる施策・事業について重点的に取り組むことを西川一誠知事と合意します。

平成17年4月

福井県知事 西川 一 誠

企業局長 藤原 宣章

基本姿勢

- ・ テクノポート福井における未操業企業に対する早期操業の促進および立地企業との連携強化を図り、本県産業の活性化と雇用の創出を促進します。
- ・ 発電所運転監視業務、ダム管理および下水処理手法の効率化により経費削減を図り、経営の健全化と利用者サービスの向上に努めます。
- ・ 水力および風力発電による再生可能なクリーンエネルギーを供給することにより、地球環境の保全に努めます。

取組項目

重点項目

1 産業の活性化

- ・ テクノポート福井の未操業企業に対し早期操業を働きかけるとともに、立地企業との情報交換や連携強化を図り、新たな設備投資や雇用機会の拡大を促進することにより、本県産業の活性化を促進します。

未操業企業	12社	11社
工場増設	7社	
新規雇用者（県内者）数	30人	

個別項目

1 経営の健全化と利用者サービスの向上

- ・ 電気事業において、滝波川第一発電所の運転監視業務および雲川ダムの監視体制を合理化します。

滝波川第一発電所運転監視業務の効率化

アウトソーシングにより、人員 3 人削減（17 年 4 月 4 人 18 年 4 月 1 人）

雲川ダム監視体制の効率化

常駐監視体制を遠隔監視体制にし、人員 2 人削減（17 年 4 月 4 人 18 年 4 月 2 人）

- ・ 日野川地区水道用水供給事業において、平成 18 年中の供用開始に向けて、王子保浄水場（仮称）等を整備します。
- ・ テクノポート福井浄化センターにおいて、汚水浄化のための活性炭をより効率的に使用することで、経費の節減に努めます。

活性炭使用量の削減に伴う効果 1,755 千円（@355 円 / kg × 5,000kg）

削減量：5,000kg（使用実績過去 3 カ年平均 68,600 kg 63,600 kg）

単 価：17 年度購入単価

活性炭再生使用に用いる A 重油使用量の削減に伴う効果

4,500 千円（@45 千円 / kl × 100kl）

削減量：100 kl（使用実績過去 3 カ年平均 1,500 kl 1,400 kl）

単 価：17 年度購入単価

- ・ 各事業分野における顧客情報など現場の様々な情報を組織の枠を超えて共有し、現状分析と課題解決を図るための「局内ミーティング」を開催することにより、経営の健全化と利用者サービスの向上を図ります。
- ・ 電力自由化の進展により経営環境が厳しさを増す中で、将来における公営電気事業のあり方について局内で検討します。

2 地球環境の保全

- ・ 再生可能なクリーンエネルギーを確保するため、水力発電および風力発電を実施し、石油代替エネルギーを供給します。
- ・ 新エネルギーに対する知識を深めるため、若手職員を中心に廃棄物発電、バイオマス発電およびマイクロ発電の調査・研究を行います。